

(施策評価表52)

【施策番号IV-11-①-1】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 ～将来の州都をめざします～	主な施策	◆州都を構想する ～州都をにらんだ構想づくりの推進～
			①州都をめざした取組みの展開		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>九州知事会が一体となって道州制を先取りした取組みを進めることにより、国の道州制の議論を九州からリードするとともに、将来の州都をにらんだ構想づくりを進めます。</p>	くまもと未来会議	企画課	-	<p>・H24年5月から3回にわたり開催した「くまもと未来会議」で、有識者の方々に「州都」について議論していただいた。その際の御意見に基づき、H25年3月、県民の皆様の州都議論への参加を促す際の基礎となる、州都構想を策定した。</p>	<p>・道州制についての九州の考え方を国の議論に反映できるよう努める。</p> <p>・本県での道州制シンポジウム開催を誘致し、道州制や州都についての周知啓発を行う。</p> <p>・「道州制推進知事・指定都市市長連合」の活動に参画する。</p> <p>・県と熊本市による道州制の共同研究を実施する。</p>	<p>・県民アンケート結果等によると、道州制や州都に対する県民の理解が十分に進んでいるとは言えないため、これを高めていく必要がある。</p> <p>・道州制に向かうステップとなる具体的な行動を進めていく必要がある。</p> <p>・州都についての議論の深化が必要である。</p>	<p>・市町村との意見交換を行い、地方の立場から道州制の議論を十分に行う。</p> <p>・県民の州都議論への主体的参加を促す動機付けやきっかけづくりを進める。</p>
	広域開発行政促進事業(事務費)	企画課	2,223				
			1,981				
			-				
		主な施策のまとめ		<p>●「くまもと未来会議」での有識者の意見に基づいて州都構想を策定し(H25.3)、県民の州都議論への参加促進に寄与。</p>	<p>●「道州制推進知事・指定都市市長連合」活動への参画や熊本市との道州制の共同研究を実施しながら、道州制についての九州の考え方を国の議論に反映できるよう努め、また、道州制や州都についての周知啓発を実施。</p>	<p>●道州制や州都に対する県民の理解の向上。</p> <p>●道州制へのステップとなる具体的な行動の推進。</p> <p>●州都についての議論の深化。</p>	<p>●市町村との意見交換を行い、地方の立場から道州制の議論を十分に進展させ、また、州都議論への県民の主体的参加を促進。</p>